

# こどもたちが地域や国際社会で活躍するには ～国際バカロレアで身に付けたい力とは～

託児もかまえちゃう  
き、若いお父さん、  
お母さんにも来て  
ほしいのう。

人の意見をうのみにせ  
んと、新聞や本を読ん  
で世論を知り、知識を蓄  
え、自分で答えを探さな  
いかんぜよ。

世の中が日々変わりゆ  
うき、今までどおりの教  
育じゃあ世界に通用せ  
んなってきゆう。高知  
県、日本、世界に貢献で  
きる人を育てとうせ。

## 高知県グローバル教育シンポジウム

最近、**国際バカロレア (IB)** という教育が注目されています。IBは、教科横断型の授業による知の統合や芸術活動、奉仕活動も重視する全人教育を行い、「多様な文化を理解・尊重し、国際的な視野をもって行動できる人材の育成」を目指す教育プログラムです。

この教育は、文部科学省が進める「**アクティブ・ラーニング (能動的学習)**」や本県が推進しているキャリア教育や、思考力、表現力、言語能力を育む「**ことばの力育成プロジェクト**」につながるものであり、多くの大学もこうした人材を求めており、IBを活用した入試制度を導入する大学が増えています。

本県では、平成30年4月に開校する併設型中高一貫教育校に、このIBを導入して、子どもたちに新しい教育を提供します(詳細は、裏面参照)。

### ※国際バカロレア(IB)の目指す10の学習者像

探究する人、知識のある人、考える人、コミュニケーションができる人、信念をもつ人  
心を開く人、思いやりのある人、挑戦する人、バランスのとれた人、振り返りができる人

日時：平成27年11月29日(日) 13:00~16:45

会場：高新RKCホール(高知新聞放送会館 西館6F 会館西の専用エレベータをご利用ください。)

入場：無料(対象：一般の方、教育関係者など)

主催：高知県教育委員会

※事前の申し込みは不要ですので皆様お誘いあわせの上、お越しください。託児をお申し込みの場合は、11月13日までに  
ご連絡ください。なお、会場に駐車場はございませんので、公共交通機関が会場近くの駐車場をご利用ください。

13:00(会場12:30)

16:45

日程： 開会式 基調講演 講演 休憩 パネルディスカッション 閉会式

「グローバル化する社会で  
必要な学びとは」  
講師 長谷川 寿一氏

「グローバル人材の育成に  
向けた国の取組について」  
講師 松本 秀彰氏

### パネルディスカッション 「国際的な視野をもって地域や国際社会で活躍できる人材とは～生涯学び続ける力を育む国際バカロレア～」



●コーディネーター  
国際バカロレア機構  
アジア太平洋地区委員  
坪谷 ニュウエル 郁子氏



●基調講演・パネリスト  
東京大学大学院  
総合文化研究科教授  
長谷川 寿一氏



●講演・パネリスト  
文部科学省大臣官房  
国際課国際協力企画室長  
松本 秀彰氏



●パネリスト  
株式会社日立製作所  
人事勤労本部長  
田宮 直彦氏



●パネリスト  
高知大学  
地域協働学部准教授  
石筒 覚氏



●パネリスト  
IB認定校の卒業生  
サンディスク株式会社勤務  
長嶺 沙綾子氏



11月1日は高知県教育の日  
「志・とき学びの日」関連行事  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/310101/manabinochi.html>

### 【お問い合わせ先】

高知県教育委員会事務局高等学校課再編振興室 担当：阿野田(あのだ)、高野(たかの)  
住所：高知市丸ノ内1丁目7番52号(高知県西庁舎2階) 電話：088(821)4542  
E-mail：311701@ken.pref.kochi.lg.jp

# 高知県における国際バカロレア導入への動きについて

- 急激に社会や経済のグローバル化が進んでいます。
- そのために、知識だけでなく、「自ら学び、自ら考える力」「課題を発見し、解決する力」を問う大学入試制度に、また、小学校5年生から「外国語(英語)が教科化」(H32)など国の教育制度も変わろうとしています。
- 「将来、探究する力や英語力を使って地域や世界で活躍できる子どもに育てたい!」  
そんなニーズに応える教育を新しい学校で目指します!!



## 国際バカロレアの活用が日本でも始まっています

### ◆国際バカロレア(International Baccalaureate「IB」)とは

- 国際バカロレア機構(本部ジュネーブ)が提供する、国際的な視野を持った人材を育成するための教育プログラムです。
- 昭和43年に設置。当初の目的は、インターナショナルスクールに通う生徒の大学進学へのルートを確認することでした。
- 平成27年9月1日現在、世界140以上の国・地域、4,329校(日本の中学校・高校では12校)で実施しています。
- 日本でも「日本再興戦略」(平成25年6月閣議決定)に基づき、**国際バカロレア認定校を平成30年までに200校に増加**することを目標としています。
- 教育プログラムには、ミドルイヤー・プログラム(MYP:中1~高1)、ディプロマ・プログラム(DP:高2~高3)などがあります。
- 教育内容は、**考える力**や**コミュニケーション力**を養うことに重点を置いたカリキュラムです。
- 授業は、**基本的には日本語**ですが、**英語による授業**も行います。
- 創作活動やスポーツ、ボランティア活動にも力を入れた**全人教育**です。
- DP履修後に行われる認定試験の結果によってディプロマ資格(国際バカロレアの卒業資格)が授与されます。
- ディプロマ資格を活用した大学入試が、海外の大学はもちろん、国内の大学でも実施されています。

### ◆国内大学における入試でのディプロマ資格の活用導入状況

- [導入決定の大学]** 筑波大学、東京外国語大学、大阪大学、岡山大学、国際教養大学、横浜市立大学、関西学院大学、国際基督教大学、慶應義塾大学、順天堂大学、上智大学、玉川大学、立教大学、立命館アジア太平洋大学、早稲田大学の**15大学**
- [導入予定の大学]** 北海道大学、東北大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京工業大学、お茶の水女子大学、名古屋大学、京都大学、広島大学、九州大学、熊本大学、法政大学、明治大学、立命館大学など**25大学**(文部科学省ホームページより、平成27年6月現在)

## 大学入試制度の改革も進んでいます

- 入試問題が、「知識**偏重型**」から思考力や判断力を多面的に評価する「知識**活用型**」へ移行
- 東京大学をはじめ多くの大学が、**課題解決能力**を重視した推薦入試やAO入試による入学枠を拡大
- **センター試験を廃止**し、「**高等学校基礎学力テスト(仮称)**」(高校で修得する基礎学力を問うテスト)を平成31年度の高校2年生(現在の中学1年生対象)から試行し、平成35年度から本格導入。「**大学入学希望者学力評価テスト(仮称)**」(大学教育を受けるために必要な学力を問うテスト)を平成32年度の高校3年生(現在の中学1年生対象)から実施予定。
- 2次試験は、各大学が「課題解決力」や「コミュニケーション力」をより重視する方向に

高知南中学校・高等学校と高知西高等学校を統合して、現在の高知西高等学校の敷地に

**平成30年4月、高知県のグローバル教育のリーダー校として、  
国際バカロレアの認定を目指す新しい中高一貫教育校の中学校が開校します!**

現在の**小学4年生から対象**

### 新しい中高一貫教育校の学習プログラムのイメージ

新中学校(定員60名)※

[中1~高1の4年間]

IBのミドルイヤー・プログラムに準じたプログラムを検討中(60名)(※)

他の中学校からの入学者

新高等学校(定員280名)※

グローバル教育科(仮称)(定員60名)※  
[高2~高3の2年間]

IBのディプロマコース(20名)※

グローバルコース(40名)※

普通科(定員220名)(※)

- ◆ 新しい中高一貫教育校は、国際バカロレア(IB)認定校を目指します。  
「IBのディプロマコース」を選択した生徒は、国際バカロレアのカリキュラムで学習します。卒業前にディプロマ認定試験を受験し、合格すれば世界共通のディプロマ資格が得られます。「グローバルコース」を選択した生徒には、英語に重点を置いた教育を行います。  
※ 定員は、平成30年度の予定定員です。
- ◆ 平成30年度中には、新校舎の建築と既存校舎の改修を完了する予定です。